

# 2020 年度 自主防災組織総会

桜ニュータウン自主防災組織

日時:2021 年 3 月 28 日(日) 自治会総会終了後～12:00

場所:広岡交流センター 1階ホール

## 議事次第

- I. はじめに
- II. 2020 年度 活動報告
- III. 2020 年度 決算報告
- IV. 2021 年度 役員・顧問候補者
- V. 2021 年度 防災員名簿
- VI. 2021 年度 活動計画(案)
- VII. 2021 年度 予算(案)

### I. はじめに

2011 年の東日本大震災から早くも 10 年が経過しました。桜ニュータウンでは 2018 年度から 9 月 1 日と 3 月 11 日を防災の日とし、この前後の 1 週間を防災週間として、住民の皆様にご家族同士の連絡体制や防災備蓄品の確認をお願いしております。そんな中、去る 2 月 13 日には福島県沖を震源とする M7.3 の地震が発生し、改めて 10 年前の大地震の恐怖を思い出すと共に、備えの必要性を再認識したところです。

一方、昨年春からは新型コロナウイルス感染症が世界を覆い、国内でも 2 度の緊急事態宣言が出され、感染拡大を食い止めるべく自粛の生活が求められております。これからは地震や台風といった自然災害だけでなく、感染症にも備えた防災対策を講じることが必要になってきています。

私たちは「自分の命は自分で守る」、「我々の街桜ニュータウンは住民みんなで守る」の理念の基に、2012 年に自主的な防災活動を行う自主防災組織を立ち上げ、住民全員参加で災害の軽減・防止に努めることを目標に活動を継続してきております。

自主防災組織の共助の働きの鍵を握るのは、住民のコミュニケーションの力です。幸いに桜ニュータウンはコミュニケーションの非常に良い街なので、平常時の緩やかな見守りから、災害時の共助にわたって住民の力を発揮することが可能と考えています。

自主防災組織では設立時の理念と目標に向かって努力を続けるとともに、新たな課題への取り組みも始めていきます。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## Ⅱ. 2020 年度活動報告

### 1. 自主防災組織全体

- ① 11/21 に感染症対策を講じての防災訓練(安否確認)を開催した。一方、今年度開催を予定していた日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災住民意見交換会は新型コロナの感染状況を考慮し、すべて開催を見合わせた。
- ② 9 月と 3 月に防災の日と防災週間を設定し、「防災チェックシート」による自主点検のお願いと、備蓄水の購入あっせんに取り組んだ。
- ③ 筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として使用するためのつくば市、土浦市、学校の3者協定締結に向けた準備作業は、コロナ感染症拡大のため大幅に遅れている。
- ④ 自主防災組織のホームページ、防災だより、防災メール、掲示板を使って情報発信を行なった。
- ⑤ 中央公園への防災井戸設置の必要性について、防災だよりを通じ、住民に知ってもらう活動に取り組んだ。
- ⑥ 自治会本部役員と自治会規約改正に関する打合せを 4 回開催し、自主防災組織の立ち位置と職務内容について見直しを行い、自治会規約改正案として取りまとめた。
- ⑦ 開催した会議は以下のとおり。なお防災会議については、今年度は開催を見合わせた。
  - ・役員会 7回(6/27、8/29、10/31、11/27、12/19、1/30、2/20、なお1月以降はオンライン会議)

### 2. ひなん支援部会

- ① 災害時安否確認のための世帯調査とひなん時に支援希望する方の調査を7月に行なった。今年度のひなん支援希望者は80名で、サポーターを72名の方をお願いした。
- ② 防災訓練で安否確認を担当した。今回の訓練は感染症と地震の複合災害であることを前提に、担当者の感染防止を考慮した形で実施した。皆さんの協力のもと、班長、サポーター、メールによって安否が確認されたのは88.7% (469/529世帯)で、これまでで最も高い数字となった。
- ③ 支援希望者宅を3回(7、10、2月)訪問、ひなん支援部会を5回(6、8、10、11、1月)開催した。

### 3. 情報部会

- ① 広報活動:防災メール7回および掲示板8回によりお知らせと注意喚起を行った。今期は新型コロナ関係で、危機管理課からの外出自粛要請のお知らせや、マスクの送り付け詐欺・給付金詐欺、感染症禍における地震等の複合災害に関する事項が多かった。
- ② 防災メール管理運営:7月に登録のお願いチラシを配布し、97件の新規登録があった。登録総数は315件となり、登録実人数は281名となった。
- ③ 防災訓練:今期は本部での密を避けるため、防災メールの返信集計は担当者の自宅をZoomで結んで行った。安否確認の返信数は147件(後日受信を含む)であった。
- ④ 防災だより:39号~41号を発行した。9月と3月の防災週間のお知らせに合わせ、備蓄水の購入受付と宅配を行った。

### 4. 訓練部会

- ① 防災訓練実施(11/21)

安否確認と災害対策用資機材である発電機(ガス・ガソリン)の動作チェックを行った。  
ガス発電機は問題なく動作確認できたが、ガソリン発電機はエンジンが掛からず、後日修理した。
- ② 備品購入  
簡易トイレ、テント、トイレ消耗品を購入した。

### Ⅲ. 2020年度決算報告

#### 収入

項 目	予算案額	決算額
自治会部会活動費	200,000	205,900
2019年度つくば市補助金	30,000	30,000
合 計	230,000	235,900

#### 支出

項 目	予算案額	決算額	
備品費	27,500	45,042	
折り畳みテント+簡易トイレ	1セット	5,500	7,259
家庭用電気変換機(DC12V→AC100V)	1台	22,000	21,998
ガソリン発電機修理		0	15,785
備蓄品費	17,700	17,364	
備蓄用 水(500mLペットボトル)	賞味期限2年 144本	5,700	5,754
	賞味期限5年 144本	12,000	11,610
印刷費	64,430	32,780	
地図作成	ニュータウン地図 A1×3	1,200	900
ひなん支援希望者地図	A3、A4	600	340
個人調査表他	A4 2枚×550	3,000	1,240
安否確認	A4 160枚	2,300	4,870
ポスター等(防災訓練、講習会)	A4～A3、55枚	3,000	1,500
防災だより	A4 550部×2面×6回	4,000	3,820
防災マップ(注1)	B4カラー 600枚	15,000	0
部会、役員会、防災会議等資料	自宅等でのコピーを含む	35,330	20,110
消耗品費	46,070	32,482	
防災訓練諸費用	啓蒙活動、アルファ米など	21,700	0
	事務用品、乾電池		11,898
個人調査用封筒	封筒 500枚	2,200	1,250
シール	300シート、10面	2,120	1,798
コピー用紙	A4白色×7000枚	8,400	5,954
広報用ポスター(アネート等)	日赤講習、防災訓練など	2,500	3,210
マグネットシート	20枚	3,000	3,112
整理容器(箱、袋など)	ポリ袋 100枚	750	2,295
簡易トイレ用消耗品	50回分	5,400	2,965
開催費	21,000	0	
日赤講習会	講師費用	6,000	0
講習会の展示品	展示用品、紙類	4,000	0
救急救命講習会	講習申し込手続き等	1,000	0
防災住民意見交換会	講師謝礼、講習用材料	10,000	0
サーバー	8,300	7,784	
使用料	サーバー使用料	8,300	7,784
	防災メール用		
交通費	15,000	1,080	
高速代(桜土浦-水戸)	高速代(桜土浦-水戸)	5,000	0
ガソリン代	ガソリン代	10,000	1,080
予備費	30,000	29,908	
	感染症対策備蓄品	0	29,908
合 計	230,000	166,440	

(注1) 防災マップは会員名簿の一部として印刷され、広報部の会員名簿予算で会計処理されたため、自主防災予算からは支出されない。

(注2) 収支残額69,460円は自治会の来年度予算に繰越し

#### IV. 2021年度役員・顧問候補者

役 職	氏 名	区班	備 考
防災長	金子 和雄	北5	訓練部会
副防災長	但野 恭一	中4	ひなん支援部会
副防災長	並木 宏之	南8	情報部会
部会長	八代 美代子	南6	ひなん支援部会
部会長	田中 良典	北10	訓練部会
部会長	中澤 哲夫	中1	情報部会
会 計	市川 厚司	中7	訓練部会
会 計	高橋 貴美代	南10	ひなん支援部会
書 記	阿部 眞庭	中6	訓練部会
書 記	村岡 哲郎	南5	情報部会
顧 問	—		

#### V. 2021年度防災員名簿

	氏 名	ひ	情	訓
1	杠 洋子	○		
2	金子 和雄			○
3	阿部 淳一			
4	仲 義人			○
5	桑名 君子	○		
6	真田 恵子		○	
7	入鹿山 剛堂		○	
8	保坂 和子	○		
9	田中 良典			○
10	高村 聡			○
11	森 澄子	○		
12	丸山 美知江	○		
13	杉山 好順			○
14	清水 洋			○
15	河合 靖子	○		
16	中澤 哲夫		○	
17	西 師毅	○		
18	深谷 すみ子	○		
19	山村 幸夫			○
20	但野 恭一	○		
21	菊池 敏	○		
22	阿部 眞庭			○
23	市川 厚司			○
24	日浦 修		○	
25	橋田 亮一	○		

	氏 名	ひ	情	訓
26	加藤 正子	○		
27	菊原 妙子			○
28	櫻田 清彦	○		
29	大石 みなと	○		
30	河原 政裕	○		
31	池田 すみえ			
32	大出 力			○
33	林 次郎			
34	大庭 英子	○		
35	佐藤 淳一			○
36	村岡 哲郎		○	
37	海野 喜美恵			○
38	八代 勉	○		
39	八代 美代子	○		
40	安東 多恵子	○		
41	渡辺 孝			○
42	並木 宏之		○	
43	倉持 健			○
44	大久保 成子	○		
45	安部 辰美	○		
46	片桐 一美		○	
47	高橋 貴美代	○		
48	森崎 伸之	○		
49	中村 祥一			

ひ： ひなん支援部会  
 情： 情報部会  
 訓： 訓練部会

## VI. 2021 年度活動計画(案)

### 1. 自主防災組織活動方針

昨年度はコロナ禍で防災訓練を除き、主要行事を中止せざるを得ませんでした。今年度も予断できない状況ですが、コロナ禍が収まったときに開催することを想定して、以下のように活動計画を立てます。

- ① “自分の命は自分で守る。我々の街桜ニュータウンは住民みんなで守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。
- ② 当面予想される大地震や火災、台風等の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会、を開催して災害時に備える。9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、備蓄品等の確認を行う。
- ③ 引き続き、土浦市にある筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として利用できるよう、学校、行政及び近隣の自治会と協議を進める。
- ④ 井戸水の浄水器使用による水質確認を行うとともに、災害時の生活用水を確保するため、中央公園に災害用井戸を整備する計画の住民合意をはかる。
- ⑤ 自主防災組織は住民全員が会員の組織。住民にオープンな防災会議をめざし、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせします。
- ⑥ オンライン会議ソフトを活用して、定期的な役員会を継続して開催していく。

### 2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施(5月予定)し、災害時に備える。
  - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
  - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
  - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 日本赤十字減災セミナーを実施する(6月予定)。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

### 3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
  - ・「防災だより」を発行して各種催し物の案内や報告、生活に役立つ情報を紹介する。
  - ・掲示板の有効活用を図り、各種案内・情報が全住民に伝わるようにする。
  - ・ホームページによる訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録などの掲載を行い自主防災組織の活動状況が分かるようにする。
  - ・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使用して情報を提供する。
  - ・防災メールにより、地震・台風・強風・大雨・高温など異常気象が予想される場合および周辺での災害発生状況などについて注意喚起の発信を行う。
- ② 防災メールおよびホームページの管理運営
  - ・メール登録者数の拡大を目指すとともに、防災メール登録促進用チラシを作成する。
  - ・ホームページから常に新しい情報が提供できるように随時更新を行う。
- ③ 防災について考える会の開催(予定)
  - ・防災住民意見交換会を「ちょっと防災について考えよう」シリーズとして、避難の仕方や避難所の在り方などについて、楽しみながら学んだり考えたりする会として開催する。

### 4. 訓練部会

- ① 防災訓練(10月予定)
  - ・安否確認、災害対策用資機材の取扱い説明と使用体験、消火栓取扱訓練(中央区)を予定。
  - ・防災訓練実施のための事前打合せ・準備を行う。
- ② 救急救命講習会(2月予定)

## VII. 2021年度予算（案）

収入

項 目	予算額	合計
自治会部会活動費	200,000	200,000
2021年度つくば市補助金	0	0
合 計	200,000	200,000

支出

項 目	内訳	費目合計
備品費	浄水器セット 1式	13,000
備蓄品費	備蓄用 水PETボトル 賞味期限 2年 96本	4,000
	賞味期限 5年 120本	10,000
	発電機用ガスポンペ 15本	4,000
印刷費	地図作成 桜ニュータウン地図 A1×3	1,200
	ひなん支援希望者地図 A3、A4	1,600
	個人調査表他 A4 2枚×550部	1,000
	安否確認 A4 160枚	1,600
	ポスター等(防災訓練、講習会) A4～A3、55枚	4,000
	防災だより A4 600部×2面×4回	3,200
	防災メール登録募集チラシ 1200部	2,500
	部会、役員会、防災会議資料 自宅等でのコピーを含む	30,000
消耗品費	防災訓練諸費用 啓発活動、アルファ米、 事務用品、乾電池	15,000
	個人調査用封筒 封筒 500枚	2,000
	シール 300シート 10面	2,200
	コピー用紙 A4白色×7000枚	2,000
	広報用ポスター(ラミネート等) 日赤講習、防災訓練、	8,700
	マグネットシート 20枚	1,000
	整理容器(箱、袋など) ポリ袋 100枚	3,000
	簡易トイレ用消耗品 50回分×3	800
開催費	日赤講習会 講師費用	9,000
	講習会展示費用 展示用品、紙類	6,000
	救急救命講習 講習申込手続き等	4,000
	防災住民意見交換会 避難所平面図作成	1,000
サーバ 使用料	ドメイン使用料	5,000
	サーバー使用料 レンタルサーバ利用料	5,800
交通費	高速代(桜土浦－水戸) 水戸2往復	2,500
	ガンリン代 水戸2往復	10,000
調査費	水質検査費(飲用井戸水) 13項目6回、半額補助	24,750
予備費		16,150
合 計		200,000